

4回戦 アンソメット 岩手八幡平 3-2 富士クラブ 2003

昨年ベスト8のアンソメットは4回戦からの登場、東北社会人1部リーグに所属するいわば「格上」の富士クラブ2003との対戦。試合は、相手にディフェンス陣のミスをつかれ立て続けに失点し、序盤から2点のビハインドを背負う苦しい展開となる。しかし、18分にFKからつないだボールからMFタチコのヘディングで1点を返すと、27分には混戦からFWジェロニモが押し込み2-2の同点に追い付く。その後は徐々に自分たちのペースで試合を進めると67分、ドリブルで切れ込んだFWジェロニモからのパスを受けたMF白井が鮮やかに逆転ゴール。この1点を守り切ったアンソメットが見事初戦を突破した。



27分、MFタチコ(写真中央、背番号2)が身長193cmの高さを生かしたヘディングで反撃ののろしを上げる得点を挙げる

7月16日 紫波町・県フットボールセンター／観客約50人			
アンソメット	3	2 前 2	富士クラブ
岩手八幡平		1 後 0	2003

GK	1	サロモン	中越悠樹	25	GK
DF	30	阿達亮介	阿部拓己	3	DF
	5	井筒庄吾	安孫子祐太	5	
	26	仲村太地	長峯滉希	15	
	9	阿部伶史	菊池元太	16	
MF	2	タチコ	庄司英太郎	7	MF
	4	三好 諒	庄子 渉	8	
	6	白井一馬	藤原健吾	6	
	7	貞松涼太	佐々木雄太	10	
FW	8	鶴田溪季	藤原幸太	11	FW
	16	ジェロニモ	岩崎 嵩	22	
監督		丸山富洋	高橋慎太郎		監督

前10後8	18	シュート	9	前6後3
タチコ(18分)	1-2	得点	0-1	岩崎(13分)
ジェロニモ(27分)	2-2		0-2	岩崎(17分)
白井(67分)	3-2			
三好→今枝弘幸(78分)	交代	庄子→富永祥太(61分)		
鶴田→丸山龍也(82分)		岩崎→平栗尚幸(72分)		
貞松→原田大輔(87分)		菊池→穴戸孝臣(90分)		
タチコ、鶴田	警告			



岩手県サッカー選手権大会で準優勝したアンソメット岩手八幡平(写真=決勝、対グルージャ盛岡戦のスターティングメンバー)後列(左から)FWジェロニモ選手、FWタチコ選手、GKサロモン選手、DF仲村太地選手、DF阿達亮介選手、DF井筒庄吾選手 前列(左から)MF鶴田溪季選手、DF阿部伶史選手、MF白井一馬選手、MF三好諒選手、MF貞松涼太選手

準々決勝 アンソメット 岩手八幡平 3-1 岩手大学 (延長)

気温が30度近くまで上がり、時折激しい雨の降る中行われた岩手大学との準々決勝。アンソメットはキックオフ直後にセットプレーから先制点を許すが、焦ることなく落ち着いてゲームを支配していくと、31分にMF三好がドリブルで持ち込み、そのままシュートを決める。その後も積極的にゴールに仕掛けるものの、中盤を厚くし、プレスを仕掛ける相手の好守に阻まれ得点が奪えない。後半終了間際に得たPKのチャンスも外し、試合は1-1のまま延長戦へ。すると96分、MFタチコからのパスに反応したMF鶴田が値千金のゴールを挙げる。100分には途中出場のFW丸山が右足で合わせダメ押し。チーム初の準決勝進出を決めた。



96分、相手のディフェンスラインの裏に抜け出したMF鶴田が待望のゴールを奪う

7月24日 花巻市・スポーツキャンプむら／観客約50人			
アンソメット	3	1 前 1	岩手大学
岩手八幡平		0 後 0	
		2 延前 0	
		0 延後 0	

GK	1	サロモン	成田峻之	28	GK
DF	30	阿達亮介	佐々木一馬	5	DF
	5	井筒庄吾	阿部昂平	27	
	26	仲村太地	松葉 開	8	
	9	阿部伶史	大和田優馬	23	
MF	2	タチコ	中村駿介	3	MF
	6	白井一馬	川井隆太	29	
	7	貞松涼太	渡辺勇作	14	
	8	鶴田溪季	佐々木直樹	9	
FW	13	伊芸順輝	中北 遣	11	
	16	ジェロニモ	阿部竜矢	16	FW
監督		丸山富洋	鎌田安久		監督

前6後5延長4	15	シュート	8	前1後4延長3
三好(31分)	1-1	得点	0-1	佐々木(1分)
鶴田(96分)	2-1			
丸山(100分)	3-1			
貞松→三好 諒(23分)	交代	川井→小松泰人(45分)		
伊芸→今枝弘幸(43分)		佐々木→水間齊吾(69分)		
仲村→丸山龍也(67分)		渡辺→吉田智広(102分)		
阿部、タチコ、丸山	警告			成田

◎特集 [第61回岩手県サッカー選手権大会]



アンソメット 堂々の準優勝

日本のサッカー界で最も歴史と権威があるといわれる大会、天皇杯一。

J1、J2のプロチームと各都道府県代表などのアマチュアチームがサッカー日本一を懸けて争うトーナメントだ。

その岩手県代表を決める「第61回岩手県サッカー選手権大会」で八幡平市に本拠を置く創設3年目のアンソメット岩手八幡平が準優勝した。天皇杯の切符獲得はならなかったが、快進撃を見せた戦いぶりを追った。

今シーズン、アンソメットが一番の目標に掲げていた「岩手県サッカー選手権大会に優勝し、天皇杯出場」は惜しくも手が届かなかったが、おとしは1回戦敗退、昨年は準々決勝で敗れたチームが創設3年目で準優勝という過去最高の成績を残した。

3シーズンのことし、チームの体制が変わった。大幅に選手が入れ替わったのはもちろんだが、震災の影響もあり、丸山富洋監督がクラブの代表を兼務することになり、クラブの経営の在り方そのものについて、路線変更を余儀なくされた状態でのスタートだった。クラブは、スポンサー集めに奔走した。時には選手自ら企業などに足も運んだ。その結果、今シーズンはオフイシャルパートナーからアシストスポンサーまで合わせると、市内外の300近い企業などの支援を受けて、クラブ運営を行っている。

また、地域に根を下ろした活動の一環として昨年と同様

◎取材を終えて

地域に根差したクラブでさらなる上のステージへ

サッカー指導を実施。4月から10月までタチコサッカーカースクールを開講したのをはじめ、松尾中学校サッカー部への指導や保育所への訪問スクールなどに積極的に取り組んだ。丸山代表は「今シーズンは、地域の子どもたちなどから声を掛けられようになり、アンソメットが身近に感じられてきている」と自信を深める。

サッカーに限らず、スポーツは震災からの復興を目指し、元気のある岩手・八幡平を発信する1つのけん引力になっていくはず。八幡平市のクラブチーム（実際、アンソメットは八幡平市代表として県民体育大会に出場し、ことしは優勝）として、将来的にはJと名の付く舞台・まずはJFL昇格へ。

4年目の来季に向けて、「県ナンバー1はもちろん、さらには上のステージで戦えるクラブづくりを目指す」と丸山代表。アンソメットの挑戦はこれからも続く。

準決勝 アンソメット 2-1 FCガンジュ 岩手

準決勝は、前回準々決勝で敗れた因縁の相手・FCガンジュ岩手と激突。MFタチコを累積警告で欠くも、立ち上がりから球際でのボールの奪い合いで気迫を見せるアンソメットがリズムをつかんでいく。22分にFWジェロニモのゴールは惜しくもオフサイドだったが、33分MF鶴田が鋭く抜け出し、この大会初めての先制点を挙げる。55分にもFWジェロニモが押し込み、2-0とリードを広げる。終盤はFCガンジュが意地を見せ、DF阿部が2回目の警告で退場した直後の82分に1点を返し粘りを見せる。しかし、その後の相手の猛攻をしのいだアンソメット。警告7枚と荒さも出たが見事競り勝ち、初の県制覇に王手をかけた。



55分、FWジェロニモ（左から2人目）が右足でシュートを決め、2-0と突き放す

7月31日 盛岡市・盛岡南運動公園球場/観客325人									
アンソメット 2					FCガンジュ 1				
岩手八幡平					岩手				
		1 前	0			1 後	1		
GK	1	サロモン		三田 優	21	GK			
DF	30	阿達亮介		古矢 翼	22	DF			
	5	井筒庄吾		斉藤 乙	11				
	26	仲村太地		林 明河	19				
	9	阿部伶史		稲垣 順	6	MF			
MF	4	三好 諒		仲谷圭史	23				
	6	白井一馬		中野 翼	7				
	7	貞松涼太		門間啓太	14				
	8	鶴田溪季		姜 暁一	13	FW			
FW	3	丸山龍也		原田 太	20				
	16	ジェロニモ		三ヶ崎伸穂	9				
監督		丸山富洋		今井敏明		監督			
		前7後2	9	シュート	6			前3後3	
		鶴田(33分)	1-0	得点	2-1			古矢(82分)	
		ジェロニモ(55分)	2-0						
		丸山→今枝弘幸(60分)		交代				三田→種村繁輝(60分)	
		白井→ノ瀨靖彦(72分)						門間→金度均(72分)	
		阿達→丸山富洋(90+2分)							
		井筒(警)、阿達(警)、三好(警)、仲村(警)、ジェロニモ(警)、阿部(退)		警告(退場)					

決勝 アンソメット 1-3 グルージャ 盛岡

いよいよ決勝の舞台、相手は4連覇を狙うグルージャ盛岡。試合は、立ち上がりから押し込まれ、16分にFWジェロニモがこの試合2回目の警告で退場。早くも1人少ない戦いを強いられると、22分に先制点を奪われる。それでも32分につかんだFKのチャンスにMF白井が反応して同点に追いつくが、前半ロスタイムに勝ち越し点を許し、再び追う展開に。後半は防戦一方。84分にはFW丸山が一発退場で9人となると、終了間際に追加点を決められ万事休す。終わってみれば、グルージャの22本に対してアンソメットは4本。ほぼ相手にゲームを支配され、持ち味を発揮できないまま試合終了のホイッスルを迎えた。



1人少なくなった中でも32分にMF白井（写真右、背番号6）が得点を決め、一時は同点に追いついたが...

8月28日 盛岡市・盛岡南運動公園球場/観客549人									
アンソメット 1					グルージャ 3				
岩手八幡平					盛岡				
		1 前	2			3 後	1		
GK	1	サロモン		齊藤洋平	1	GK			
DF	30	阿達亮介		大原卓文	3	DF			
	5	井筒庄吾		市村 瞬	6				
	26	仲村太地		東山裕太	15				
	9	阿部伶史		疋田大和	16				
MF	4	三好 諒		小野雄平	5	MF			
	6	白井一馬		西 洋祐	7				
	7	貞松涼太		松田賢太	8				
	8	鶴田溪季		上山愛史	10				
FW	2	タチコ		佐藤佳成	9	FW			
	16	ジェロニモ		加藤浩史	13				
監督		丸山富洋		吉田 暢		監督			
		前2後2	4	シュート	22			前8後14	
		白井(32分)	1-1	得点	0-1			松田(21分)	
								1-2 加藤(45+3分)	
								1-3 金子(90+1分)	
		貞松→今枝弘幸(31分)		交代				佐藤→石井雄真(77分)	
		タチコ→ノ瀨靖彦(72分)						上山→亀山泰樹(82分)	
		白井→丸山龍也(83分)						大原→金子恵(87分)	
		ジェロニモ(退)、丸山【富】(警)、阿部(警)、仲村(警)、丸山【龍】(退)		警告(退場)				松田(警)	